

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2023~2024年度 No.288

12月報

那須クラブ会長 主題

「若者と共に」成長しよう



強調月間：キリスト教理解

IBC

祈りの輪 (8日)

今月の聖句 ヨハネによる福音書 17:21

父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしの内にいるようにしてください。(略)

12月第1例会 (クリスマス礼拝・祝会)

日時：12月9日(土)午後6時~

場所：日本基督教団西那須野教会

内容：大久保知宏北東部長公式訪問・養徳園園児招待

総司会 副会長 田村 修也

オープニング

開会点鐘 会長 河野 順子

聖書朗読 (国際聖句)

ワイズソング

会長挨拶 会長 河野 順子

北東部長挨拶 部長 大久保 知宏

第1部 パイプオルガンによるキャンドルサービス

司会 藤生 強

奨励 日本キリスト教団西那須野教会 牧師 潘 炯旭

奏楽 日本キリスト教団西那須野教会 木村 眞喜子姉

第2部 祝会

司会 鈴木 保江

食前の感謝 原田 明子

ゲスト紹介 会長 河野 順子

会食

リーダーと共に クリスマスソング・ゲーム

クリスマス献金贈呈

那須聖園老人ホーム

アジア学院

那須YMCAユースリーダー会

ギデオン協会聖書贈呈 支部長 村上一典

讚美か109番

報告事項 YMCA・ワイズ

会費 1,000円 (メンバーのみ)

2022~2023年度 主題

国際会長：(IP) ウルリック・ラウリドセン (デンマーク)

「輝かそう、あなたの光を」

アジア太平洋地域会長：(AP) 利根川 恵子(川越)

「改革のための光となろう」

東日本区理事：(RD) 山田 公平 (宇都宮)

「未来のために今、学びと気づきを！

未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」

北東部長：大久保 知宏 (宇都宮)

「クラブのミッションを育てよう」

クラブ役員

会長：河野 順子

副会長：村田 榮・田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：平山 雄大

ブリテン：田村 修也・村田 榮

11月例会データ (出席率：75.0%)

在籍者 8名

出席者 6名 メネット 2名 ユースリーダー 3名

YMCAスタッフ 1名 ゲスト 2名

12月 Happy Birthday

12/30 張 蔚麗メン

・1月第1例会 (新年例会・北東部長公式訪問)

日時：1月20日(土)午後6時

場所：大田原市中央1丁目7-5 北海道料理「積丹」

内容：山田公平東日本区理事の講話

「ユースリーダーたち若者に期待するもの」

・2月第2(役員会)例会

日時：1月26日(金)午後4時30分

場所：田村副会長宅

巻 頭 言

河野 順子

この11月(2023年)傘寿を迎えた。夫も一ヶ月早く傘寿の栄(?)によくしたので、めでたく二人で傘寿を迎え、これから80歳代に向かって生きていくことになる。

ところで傘寿とはなんなのか?自分にとっては、79歳が終わり80歳になったこと以外に何の感慨もないが、周りからお祝いをいただき、ありがたい言葉をいただき、いやがうえにも意識せざるを得ない。

最も、夫はこの79歳には救急車に数回世話になり、病院でも危険な検査結果を見たという薄氷を踏んだ一年ではあった。娘(内科医)は、「もう80歳になるのだから何があっても慌てないこと」など冷たい言葉を浴びせられているが、子が親を思う気持ちと配偶者が思う気持ちは違う。長い年月、戦友として過ごしたことを考えればおいそれとは相手をないがしろにはできない。願わくば、二人揃って他者には理解できないかもしれない戯言をいうのも老いたものとしては、幸せというものと思う。

なぜ卒寿などあるのか?還暦、古稀は中国発祥らしいが、喜寿や卒寿などは日本で生まれたことらしい。今や、100年時代と言われているなら、80歳でお祝いなどいらないと思う。

私の母は、「お祝いすると早死にするからお祝いしないで」といい、101歳まで生きた。

傘寿のお祝い色は、黄色らしい。今更、お祝いもいらない。

体のあちこちにメンテナンスも必要だろうし、上手に部品のメンテナンスをして楽しい明日に向かって日々、過ごすことが大事に思う。

私は、考えさせられる書物は日中読むことにして夜は楽しい夢のある小説を読むのが、安眠の秘訣である。よく眠れるのでクオリティの高い翌日の一日が過ごせる。

「70歳代と80歳代はちがう」と聞く。その通りだろう。周りに迷惑をかけず、日常自立した生活と少しばかりのボランティアができ、おしゃれな友達とお茶をすること、趣味の薔薇をきれいに咲かせることを、傘寿の夢としようと思う。



202311.23 11月例会(日本の文化に触れる 茶道)於:遠山師宅

11月第1例会(日本文化に触れる)報告

日時：11月23日(木)午後1時30分～

場所：

出席者：河野、田村、村田、張、藤生、平山の各メンバー、田村、村田の各メネット、ゲスト：ユースリーダー3名、とちぎYMCAスタッフ1名、指導者2名 計14名

11月例会は、「日本文化を知ろう」というテーマで、那須塩原市内の遠山宗定師匠宅にて「茶道」体験を行いました。

明治時代に建てられたという遠山師匠宅は、住宅というより「客人を茶道でもてなすための建物」の様で、玄関前に立った瞬間から非日常的な空間と時間に入り込んだようでした。

例会は、ゲスト4名(ユースボランティアリーダー3名、YMCA職員1名)とメン及びメネット8名が出席し、2班に分かれて体験を行いました。

住居である母屋と茶室は繋がっていましたが、「茶道の作法」にならい、草履に履き替え、一度外に出て茶室の入り口に向かいました。茶室へは小さな入り口「にじり口」から、頭をかがめて入りました。にじり口の「開け閉め」にも作法があるようで、手の位置や甲の向きなどを教わりました。班の全員が茶室に揃い、茶事が始まりました。

初めに茶室内の座る位置「畳の縁から何目離れた位置に座るか」などの作法を教わりました。次に茶菓子が配られ、「茶菓子の器からの取り方」「茶菓子は手で口に入れる分だけ割って食べる」など茶菓子の食べ方の作法を教わりました。その後、助手の方が点てたお茶を一人一人頂きました。作法に戸惑うと遠山師匠がずっと教えてくださいました。「茶碗の受け取り方」「飲み方」「飲み終わった茶碗の鑑賞の仕方」など細かな作法も教わりました。

作法に戸惑ったり、間違えたりすると師匠からの注意が飛びましたが、茶事の体験会ということもあり、堅苦しいことは一切なく、笑いが絶えない体験会となりました。

作法は確かに細かいものでしたが、一つ一つに「理由」があり、着物(当時の服装)での動作を考慮した実はシンプルで理にかなった動き方を、狭い茶室での丁度よい距離感の保ち方を、「作法」として伝えているのかなと感じました。

「茶道」体験を通して、改めて日本文化の深さを学ぶことが出来ました。

会場を提供してくださった、遠山師、お手伝いをしてくださった、古川さんに改めておっれいを申し上げます。

【11月那須Y's特別例会の感想】

室橋岳人さん(むろさんリーダー)

現代日本の家には、茶道を行う部屋は少なく、今回とても良い体験をさせて頂きました。入り口は狭く、こぢんまりとした部屋であったが、昔ながらの和風の部屋であり、畳の良さを感じました。また茶道の体験では、日本の文化である礼儀作法を学び、相手への感謝の大切さや使われている食器の趣深さなど改めて感じられることが多くありました。

今回茶道体験を通じて、昔ながらの日本文化の良さを知るができました。これをきっかけに、他の日本文化も知ることが出来たら良いなと思いました。

矢部将吾さん(ちょんリーダー)

先日、初めてお茶会に参加させていただきました。以前から文化的体験に興味があり、陶器や日本的な水彩画の作品を見学したり、古民家や城下町を巡るのが好きなので、いつか参加してみたいと心待ちにしておりました。実際に参加してみると、茶室での作法は普段の生活では意識しないものが多く、例えばお茶を飲む前の膝の向き、声かけ、茶碗の置き方一つ取っても細かい決まりがあり、何名かの所作を見た後でも、全てお手本通り行うことはできませんでした。掛け軸や歴史ある住宅の佇まい、素敵なお茶碗など、普段触れられないものに触れられる貴重な機会となりました。また機会があれば参加させて頂きたいと思います。この度はありがとうございました。

佐藤彩華さん(せつぷうリーダー)

11月23日にワイズの方に開いて頂いたお茶会に参加させて頂きました。去年は参加することができず、待望のお茶会となりました。本格的な茶室でお茶の先生をお呼びして、お茶を嗜みました。高校生の時に茶華道部に入っていたため懐かしさを感じると同時に、流派が違ったため、作法の違いを楽しみながら参加させていただきました。お茶も和菓子もとても美味しく、日本の良き文化を感じられる時間となりました。この良き会を来年は多くのリーダーに参加して欲しいと感じました。

2023年第2回北東部評議会の報告

会長 河野 順子

2023年11月25日(土)仙台YMCAにおいて行われました。出席は、7名、ZOOMは4、5名で行われました。

大久保部長のあいさつがあり、「北東部、クラブで抱える課題など」話し合いたいと。

1. 報告事項は、

- (1) 2023-2024年度第一回評議会議事録
- (2) 2023-2024年度北東部部長活動報告
・ 8月宮城県内合同例会公式訪問、8月もりおかクラブ公式訪問、9月北東部大会開催、盛岡YMCA創立40周年記念式典出席
- (3) 2023-2024年度事業主査方針・活動計画

地域奉仕・Yサービス事業主査

会員増強事業主査

国際・交流事業主査

ユース事業主査

メネット事業主査

エクステンション委員長

上記主査は、欠席でありましたが地域奉仕・Yサービス事業主査の涌澤主査からの報告を大久保部長から報告がありました。

プロボノリスト作成のお願い

プロボノリストは、ワイズメンズクラブ・YMCAが実施するプログラムを支援するために作成されました。

プロボノとは「公共善のために」を意味するラテン語「ProBonoPublico」を語源とする言葉で、【社会的・公共的な目的のために、職業上のスキルや専門知識を活かして取り組むボランティア活動】

「プロボノ・ボランティアリスト登録フォーム」に会員全員に記入してもらい、各クラブ会長を通して部主査に提出。締め切りは2024年4月末日。個人情報保護については、安心していただきたい。特技を教えたい人、習いたい人、人材を探している人、「プロボノ・ボランティアリストで出会おう」詳細はクラブの例会で説明したい。

2. クラブ活動報告

・ 印象的だったのは、第30回アジア太平洋地域大会に出席した石巻クラブ会長からの情報。「香港は以前と変わらないね。」と言ったら、駐在している知り合いに「何言ってる。紙をごみ箱に捨てたら、その紙を拾ってQRコードを点検する。スマホなども取り上げられる」と言われた。大会の初めに中国国旗と国歌が映像された。

3. 2023-2024年度東日本区第2回役員会報告と決議事項

・ 東日本区大会は、180万円の赤字。開催クラブの甲府21クラブとあずさ部が負担したと。以後は、区の実行委員会を設け、ホストクラブの負担としない方向でどうかの案がありますと。継続審議となったようです。

4. 第27回東日本区大会（ホストクラブ：十勝クラブ）参加登録費；アーリー登録費22,000円、2024年6月1日（土）

議案書

第一号：空席となっている時期北東部部長選任の件
山田理事の方針の2期継続の趣旨に賛同し、大久保知宏部長を再任する。ただし、クラブ負担を考慮して、部大会ホストクラブは宇都宮以外にお願いしたい。

次次期については、盛岡？に。承認

第二号：空席となっている2023-2024年度北東部監事選任については、宮城県内4クラブより推薦。承認。

5. その他

福島にクラブを

福島については、北東部会を9月に行い、その後のなんの連携も取っていない。ただ、ルートはできているので、一度会議を持ちたい。

三島開拓地での孤児教育事業—本郷定次郎の生涯—(2)

副会長 田村 修也

社会福祉研究家山野光雄氏は「社会福祉の開拓者たち」の中で、次のように述べている。だが、このころ明治の若さ、近代日本への陣痛期は、定次郎少年をも古い家業を守るだけの家に閉じ込めることはできなかった。2年後、辛抱しきれなかった定次郎は、無断で東京に走り、一時三井銀行に就職した。一度は家の者に引き戻されたが、翌21年に再び上京して、今度は逓信省の雇に採用された。当時の月俸は6円だったという。

銀座に育児事業をはじめ

1891（明治24）年、京橋銀座一丁目の一角に「貧児教育暁星園」の看板が掲げられた。定次郎の考えでは、この小家をキリスト教の講義所にするのであった。この願いは那須野原三島農場に来てから実現されたのである。

田嶋董日記（明治26・1・2）に、本日は午前佐久山町二行キタル暁星園の村君ト共ニ佐久山町ヨリ帰り余ガ家ニテ野村氏ト共ニ午餐ヲ喫シタリ時ニ又暁星園本郷悌三君（定次郎の弟明6・8・15生）来訪ス談話数刻ノ後共ニ連レ立チテ暁星園ニ至リ夕飯ノ饗応ヲ受ケ家ニ帰ル（同年3・20）

夜三島講義所ニ於テ説教アリ弁士本郷、白水（宇都宮教会）両君演説中僧八雲来リテ暴言ヲ吐キ余ハ皆謹聴セリ（同年4・16）

本日安息日ナレバ休業して町田宅ニテ礼拝式ヲナ

シ余ハ直チニ三島暁星園ヲ訪ヒ其処ニテ又礼拝日曜
学校等ヲナシ午後家ニ帰ル当夜又三島暁星園ニテ幻
燈会アリ甚盛会宗教ニ付景色ニ付有益ナルコト少ナ
カラズ先ニ上州地方ニ行キタル本郷君本日帰園ス

このように暁星園はキリスト教講義所として宣教
活動もしていた。当時暁星園の隣にあった。三島町
組大滝信吉老（91才）は、定次郎から教えられた
讚美歌をよく覚えていて歌ってくれた。

さて京橋銀座1丁目に集まって来たのは街を浮浪
する子供ばかりだったので、貧児教育に目標を変え
て教育と養育を行わざるを得なくなった。彼の通信
省の月給8円では何人もの子供に衣食を与えるには
余りに少額であった。そこで子供達と靴みがきをは
じめた。浮浪が身につけていた子供は怠慢、不良で
定次郎が先頭に立つしかなかった。彼らは青山学院
の寄宿舎を回って学生の靴を磨いた。或る時は明治
学院のワイクフ氏の許に聖書の行商をしたり、印刷
の注文をとたり金を得るためには何でも試みた。

秋元ヒデを迎える

彼が通っていた数寄屋橋教会で秋元ヒデという女
性を知り、結婚するのであるが、ヒデは良家の令嬢
で靴磨きの妻たるべく定次郎の許に嫁ぐにはそぐわ
なかった。1875（明治8）年9月3日生まれの
17才、秋元收藏の長女である。父收藏は上田侯の
侍医の家柄で、幕末に決するところあって佐幕党に
入り薩長に抗したが、明治維新になってからは、殖
産興業に力を尽くした。副戸長となり、長野の蚕糸
業の発展に功が少なくなかった。其後「中牛馬会社」
という運送業を営んでおり、信州上田から一家をあ
げて明治21年、東京市芝区田村町に移った。

数寄屋橋教会では、横井小楠の未亡人の薫陶をう
けた。

いよいよ1891（明治24）年6月23日教会
で行われた結婚式には貧しい筒袖の定次郎と花嫁姿
のヒデとは誰の目にも異様に見えた。その後定次郎
と新妻との間にどのような会話がなされたか不明で
あるが、ヒデは携えてきた衣類、髪飾、指輪等を金
に換えて粗末な筒袖1枚をのこして、孤児教育の費
用にと定次郎に差出した。（以下次号へ）

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園

西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

知人が娘さんに『マッチ売りの少女』の絵本を読
んであげたところ、「なぜ、周りの大人達はその少女

を助けなかったの」と質問をされ、答えに窮したと
話してくれました。

大晦日の雪降る晩、少女は、父親におびえてマッ
チを売っていました。周りの大人は、彼女を気にと
めませんでした。

少女が、寒さに耐えきれずマッチをすると、素晴
らしい情景が見え、大好きなおばあさんとも出会え
ました。翌朝、凍死した少女を見て、人々は哀れみ
ました。

口元に笑みを浮かべて亡くなった少女の顔は、父
からの暴力からも、周囲の無関心からも、寒さ、そ
して、飢えからも解放され、天に召され、神様のみ
もとで大好きなおばあちゃんと一緒に幸せに暮らし
ているということなのでしょうか。

この作品を書いたアンデルセンでは、貧しい靴職
人の息子として、熱心なクリスチャンの母親の影響
を受け育ちます。彼の人生は挫折の繰り返しでした
が、認められ、愛された人でありました。

そして、今も彼の作品は私たちに希望を与えてく
れています。『親指姫』、『みにくいアヒルの子』には、
主人公が困難に出会い耐えながらも、最後は幸せに
なるというキリスト教の思想が根底に流れています。

『マッチ売りの少女』が、この世に出て178年も
の間、愛され続けていることは、今もそのような状
況が、形をかえてあるのではないのでしょうか。マザ
ー・テレサは、「愛の反対は、無関心である」と言っ
ています。私は、アンデルセンが、本人がいくら努
力してもどうしようにもないことがあります。私た
ちに、出来ることは、わずかかもしれませんが、今
困難にある最も小さい者に愛をもって共に生きるこ
とが大切と言っているように感じました。

ここ数年、皆様と職員からのクリスマス献金の一
部を、路上生活を余儀なくされている方々が、凍死
しないように活動されている団体に贈っています。
学童クラブからはお米です。今年も継続したいと思
います。

アジア学院だより

学校法人 アジア学院

アジア農村指導者養成専門学校

校長 荒川 朋子

2023年度卒業式に寄せて

12月9日（土）、アジア学院は第51回の卒業
式が挙行します。13か国26名が新しい卒業生と
なって、その次の週には全員が帰国の途に就きます。
今年の研修を支えてくださった多くの皆様に心から

の感謝を申し上げます。

思想家で武道家の内田樹氏は、「学ぶ」ということについて、それは「『コンテンツ（内容物）』が増加することではなく、『コンテナ（入れ物）』そのものの形状や性質が変わること」であり、「知識や情報の総量を増やすことではなく、『別人になること』、語彙も発声も情動もすべて変わること」だと言いました。これを読んだ時に私は、この種の「学び」こそアジア学院の目指す学びだと思いました。アジア学院は、世界各地から呼び集められた仲間との共同生活と学びを通じて、人格的な交わりを持つことによって、ひとりひとりの「コンテナ（入れ物）」そのものが変容することを求めています。

新しくなる「コンテナ（入れ物）」の形状はひとりひとり違います。でも重要なのは、今までと全く違うものになるということです。内田氏は、使う語彙だけでなく、発声も情動すらも変わると言いました。アジア学院の学生がそのように変容する過程を、かつて高見敏弘先生（アジア学院の創設メンバーのひとり）は、イネの田植えに例えました。イネは発芽して15センチほどの苗に育つと、根ごと引き抜かれて、田んぼに植え替えられます。アジア学院の学生の場合は、アジア学院に来ることで元居たそれぞれの場所から根ごと引き抜かれ、アジア学院という新しい土壤に植え替えられます。根ごと引き抜かれる時、それは多くの根を切られるという「痛み」を伴うのだけれども、それでこそ、そこから新しい根がぐんぐんと伸び、全体が大きく成長していくのだと説明しました。（この説明は今でも毎年繰り返しています。）

「痛み」とは、違う背景や考えを持つ多くの人たちと交わることで、これまで持っていた価値観が揺らいだり、否定されたり、自分や相手を嫌いになったり、受け入れられなかったり、理解できなかったりすることからくる混乱や不安、衝突、失望などのことを言うのでしょうか。しかし、それらの「痛み」はやがて、より広い視野、深い理解、共感、洞察などにつながり、人間としての成長を促してくれます。アジア学院で学生たちは、毎日のように多くの「痛み」を経験し、さらに大きく成長するための準備をしてきました。卒業して、今からそれぞれの地域社会に戻る（植え替えられる）時、再び「痛み」を経験すると思いますが、それは一度経験した「痛み」ですから、きつとうまく切り抜けるでしょう。

ただ、今年はミャンマー、カメルーン、ナイジェリアなど激しい内紛や対立の続く地域から来た学生が多くいました。ですから、彼らが故郷に戻る時、

これまでの卒業生とは違った「痛み」が増し加わるのではないかと危惧しています。普段の年でも、アジア学院の学生の出身地は、貧困、食料や物資の不足、教育や医療サービスの欠如、環境破壊、病気の蔓延など様々な問題を抱えています。今年の学生は非人道的な暴力が長期にわたって横行する絶望的な状況の中から大変苦勞をしてやってきた学生が多かったのです。ミャンマーはクーデターが起きて民主的な政治を求める国民を制圧しようとする軍事政権になってから2月で3年目になります。カメルーンの英語圏（北西州及び南西州）では、2017年10月以来英語圏独立を掲げる分離独立派と治安部隊との衝突が続いていて、未だ多数の死傷者が発生しているほか誘拐事件も頻発しています。子供たちは6年間もまともな教育をうけない状態であると、カメルーンの学生は暗い表情で話していました。ナイジェリアは北部でボコ・ハラムという過激化イスラム組織が自爆テロ、襲撃、誘拐、金品・家畜の強盗等を行っていて、治安部隊との衝突も断続的に発生しています。ハイチは2年前に大統領が暗殺されてから政治的混乱が続いていて、銀行やガソリンスタンドの閉鎖が続いています。

こうした荒れた地に戻っていく時に、彼ら、彼女らが身にまとっているのは、アジア学院で学んだ知識、技術などの「コンテンツ（内容物）」と、サーバントリーダーシップ（仕えるリーダーシップ）などの価値観に形づくられた「コンテナ（入れ物）」です。それらはどのように故郷に受け入れられていくのでしょうか。特に従来のトップダウンのリーダーシップが当たり前になっている社会で、サーバントリーダーシップを実践するのはそう簡単ではないことはわかっています。しかし過去の卒業生たちが、アジア学院での学びが、実践においてにとっても効果的であると証明してくれています。彼らの行動力を信じ、彼らの身の安全と、心の平安があることを、そして彼らが守ろうとする人々の上にも神様の最大限のご加護と慰めと癒しがありますようにと切に切に祈ります。

YMCAだより

【Amazon みんなでサンタクロース】

Amazonによる社会貢献活動の一つである「みんなで応援ほしいものリスト みんなでサンタクロース」プログラムが、今年も始まります。クリスマスや年末年始のホリデーシーズンに、Amazonの「ほしいものリスト」を活用したチャリティ

キャンペーンです。

今回、とちぎYMCAはパートナーとしてとちぎYMCAを含む全国のYMCAにおいてこのキャンペーンに参加します。

QRコードからAmazonサイトに移り、とちぎYMCA欲しいものリストをご覧ください。

多くの子どもたちが室内、野外で十分に体を動かしたり、豊かな学びのときを持ったり、仲間とのかけがえのない時間を過ごすことができるよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。



【とちぎYMCA・那須YMCA 12月の予定】

- ・12/3 (土) サタデークラブ@西那須野幼稚園 (クリスマス飾り作り)
- ・12/4 (月)～6 (水) 北関東スキーディレクター・スタッフトレーニング (菅原・武田が参加)
- ・12/9 (土)～11 (月) 北関東スキーリーダートレーニング (菅原・武田・リーダーが参加)
- ・12/16 (土) サタデークラブ@西那須野幼稚園 (クリスマス飾り作り)
- ・12/16 (土)・17 (日) とちぎYMCAスキーリーダートレーニング (濱塚・菅原・武田・リーダーが参加)
- ・12/17 (日) サンタ de ラン2023@宇都宮
- ・12/28 (木) ワンデイスキー①ウィンタープログラム開始
- ・12/29 (金) ワンデイスキー②

ユースリーダーのつぶやき

1. 名前 (リーダー名) 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは? 5. 思い出に残った活動とその理由は? 6. 今後の進路は? 7. YMCAに一言

お休みします

編集後記

・今月号も遅くなってしまった。編集者の怠慢である。原稿をくださった皆様にはご迷惑をおかけしました。お詫びいたします。

1月例会の予告

2024年1月例会は、新年例会として、ユースリーダーを招いて、東日本区理事の山田公平さんの講話を聴くことになりました。そして、12月例会に出席予定でしたが業務の都合で欠席でした、北東部長大久保知宏さんのご出席をいただくことになりました。豪華メンバーを迎えての例会となります。

日時：1月20日 (土) 午後6時～8時30分

場所：北海道料理「積丹」

大田原市中央1丁目7-5 (下記の地図を参照)

プログラム

開会点鐘

聖書朗読・祈禱

会長挨拶

大久保知宏北東部長挨拶

会食

会食中に

自己紹介 (この1年の願い)

平山雄大担当主事受洗お祝い贈呈

会食後 (30分程度)

山田公平東日本区理事講話

「ユースリーダーたち若者に期待するもの」

YMCAの歌

閉会点鐘

会費 メンバー 5,000円

ユースリーダー 1,000円

